



2024年5月29日

各位

ジェリクル株式会社
丸石製薬株式会社

ジェリクルと丸石製薬、神経再生材の開発に関する オプション・ライセンス契約を締結

テトラゲルを用いた医療革新を目指す東京大学発のバイオベンチャー企業であるジェリクル株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役 CEO：増井公祐、以下「ジェリクル」）と丸石製薬株式会社（本社：大阪市鶴見区、代表取締役社長執行役員：井上勝人、以下「丸石製薬」）との間で、神経再生材の開発に関するオプション・ライセンス契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本契約の締結に伴い、丸石製薬はジェリクルに契約一時金を支払い、更にオプション権を行使した場合、開発の進捗に応じたマイルストン、販売ロイヤルティを支払います。

現在の末梢神経損傷に対する治療は、自家神経移植が主流であり、自らの正常な神経の一部を採取し、神経損傷部に移植することで行われます。この正常部の神経を切除することは侵襲度が高く、場合によっては採取した部位に痛みやしびれが残るという課題があります。そこで神経を再生する人工神経導管が開発されてきましたが、未だアンメットニーズは解消されたとは言えない状況です。ジェリクルの技術を活かすことで、患部に注入するだけで神経再生を促し、侵襲性が非常に低い神経再生材ができるのではないかと期待されます。

ジェリクルおよび丸石は、新たな神経再生材を早期に市場へ提供することを目指して、オプション・ライセンス契約を締結いたしました。両社のパートナリングにより神経再生材の迅速な開発を推し進めています。

ジェリクルの増井公祐代表取締役 CEO は、次のように述べています。
「このたび 100 年以上の歴史を有する丸石製薬とオプション・ライセンス契約を締結できたことを非常に嬉しく思っています。丸石製薬株式会社は治験の豊富な実績を有しており、卓越した開発力並びに販売力を有しております。我々の新しいコンセプトに共感して、開発を進めてくれる理想的なパートナーだと考えます。我々の技術が彼らの開発力と結びつくことで神経再生材の迅速な開発が進められることを期待しております。」

また、丸石製薬の井上勝人代表取締役社長執行役員は、次のように述べています。
「このたび、非常に革新的なゲル技術を有するジェリクルとのオプション・ライセンス契約を締結できることを大変嬉しく思っております。当社がこれまで培ってきた周術期・救急領域でのスペシャリティを活かし、彼らの技術を一刻も早く神経損傷を有する患者様にお届けし、患者様ならびにそのご家族の QOL 改善に貢献できるよう努めてまいります。」

以上

【本件に関するお問い合わせ先】	
<p>＜報道のお問い合わせ先＞ 丸石製薬株式会社 広報グループ e-mail: public_relations@maruishi-pharm.co.jp</p>	<p>＜技術についての詳細や技術活用を希望される企業様のお問い合わせ先＞ ジェリクル株式会社 営業担当 e-mail: sales@gellycle.com</p> <p>＜報道のお問い合わせ先＞ ジェリクル株式会社 広報担当 e-mail: pr@gellycle.com</p>

ジェリクル株式会社について

ジェリクルは、世界で唯一の均一なゲルであるテトラゲルを用いて医療に革新を起こすことを目的に 2018 年に設立された東京大学発のバイオスタートアップです。テトラゲル技術を用いて、止血材・癒着防止材・眼科手術補助剤等、様々な医療製品を作り出します。ゲルを注入するだけであらゆる病気を治療できる世の中を目指してまいります。ICC サミット KYOTO 2021 リアルテックカタパルト 優勝。大学発ベンチャー表彰 2023 大学発ベンチャー表彰特別賞。世界的なトップアクセラレーター Berkeley SkyDeck 採択。

ジェリクル株式会社の詳細情報は、<https://gellycle.com/>をご覧ください。

丸石製薬株式会社について

丸石製薬株式会社は、1888 年に日本薬局方医薬品(ベーシック ドラッグ)メーカーとして創業しました。創業 130 年を超える歴史のなかで培ってきた技術や知識・ノウハウを活かし、患者さんの QOL 向上を最大の目的として医薬品の研究・開発・普及を幅広く行い、医療に貢献しています。

近年では、周術期医療領域、感染対策領域、ベーシック ドラッグ領域を事業基盤に、新たに急性期・救急医療や支持医療(がんサポートケア) への展開も進めています。

丸石製薬株式会社の詳細情報は、<https://www.maruishi-pharm.co.jp/>をご覧ください。